

### 一般演題3-3

#### イレウス(腸閉塞)に対する高気圧酸素治療は手術回避の有効な手段となりえるか?

土井智章 豊田 泉 山田法顕 館 正仁  
山路文範 吉田隆浩 小倉真治

岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター

#### 【はじめに】

岐阜大学医学部附属病院における高気圧酸素治療(Hyperbaric Oxygen Therapy : HBO)は第1種装置が高度救命救急センター病棟内にあり、高度救命救急センター医師が臨床工学技士とともに治療および管理を行っている。今回、当センターで施行したHBO症例のうち、イレウス(腸閉塞)に対するHBOの有用性について後方視的に検討した。

#### 【現状】

当院でHBOを開始した2004年10月から2017年10月までの間にイレウス(腸閉塞)に対してHBOを施行した患者総数は60例(平均年齢54.9±21.0歳)。

HBOの施行条件は酸素加圧もしくは空気加圧(酸素吸入)2ATA 60分 1日1回であった。60例のうちイレウス(paralytic ileus : 麻痺性イレウスいわゆる機能的イレウス)が31例、腸閉塞(mechanical intestinal obstruction : 癒着性イレウス、腸管壁外性圧迫、腸管壁内疾患などいわゆる機械的イレウス)が29例であった。機能的イレウス31例の平均HBO回数は4.7±3.9回、機械的イレウス29例の平均HBO回数は5.5±4.5回であった。機能的イレウス31例は全例HBOで症状改善し、手術となった症例は無かった。また機械的イレウス29例中、11例はHBOを含む保存的治療では改善せず、腸閉塞に対する手術を必要とした。

以上より当院においてのイレウス(腸閉塞)に対するHBOの有効率は81.7%(60例中49例)であり、機能的イレウスで有効率100%、機械的イレウスに対する有効率は62.1%であった。

腸閉塞に対する手術を必要とした11例の平均HBO回数は6.1±6.2回であり、改善した症例(49例)の平均回数4.9±3.6回と比較して、有意差は無かった。手術となった症例11例の中でHBO施行回数が3回以

下で手術となった症例は11例中5例あり、その5例の中にはHBOを継続することにより、手術を回避できた可能性のある症例も含まれていたと推察された。機械的イレウスの中で癒着性イレウスだけに注目すると癒着性イレウスに対するHBOの有効率は70.8%(24例中17例)であった。

#### 【文献的考察】

文献上は機能的イレウス・機械的イレウスともに80%以上の有効率が報告されており<sup>1~4)</sup>、当院では機能的イレウスに対しては有効率が高く、機械的イレウスに対しての有効率は低い傾向にあった。

イレウス(腸閉塞)症例に対するHBO回数に関する文献では、術後癒着性イレウスに対しては6回を目安に行う<sup>5)</sup>という報告があり、当院での改善症例の平均回数は4.9回、手術症例の平均回数6.1回であり、文献と同様な結果であった。

以上の結果を踏まえると、イレウス(腸閉塞)症例では手術を決定する前に5-6回程度のHBO施行により、腸閉塞手術を回避できる症例があると推察される。HBOはイレウス(腸閉塞)症例の手術回避のための保存的加療の一助となる可能性が示唆された。

#### 【結語】

イレウス(腸閉塞)症例に対するHBOは保存的加療の一助となる可能性があり、手術回避の有効な手段と考える。

#### 参考文献

- 1) Ambiru, et al. Hepatogastroenterology.2007;54 : 1925-1929.
- 2) 瀧ら. 日高圧医誌. 2005 ; 2 : 76-81.
- 3) Fukami, et al. Br J Surg. 2014; 101 : 433-437.
- 4) 小松ら. 日本腹部救急医学会雑誌. 2003;23 (5) : 709-712.
- 5) 岡田ら. 救急医学. 2000; 24 : 805-809.